



宿泊時のマナー

行楽の秋ですね。旅行の計画を立てている方も多いのではないのでしょうか。観光や滞在に合わせ、さまざまな情報をもとに決めた宿泊施設で過ごす時間は、素敵な旅の思い出のひとつになりますね。施設から良いおもてなしを受けるには、利用する側のちょっとした心遣いも必要です。今回は、良い思い出づくりにつながる『宿泊時のマナー』について、ご紹介します。

チェックインのマナー

到着予定時間を大幅に変更するときは、早めに連絡を入れましょう。お客さまを受け入れる準備をしている施設側への配慮です。チェックイン時には、施設側から、予約内容の確認や館内説明があります。快適な滞在につながる情報も確認できるので、丁寧に聞きましょう。チェックインをしていない知人や友人を部屋に通すことは、原則禁止とされています。ロビーやラウンジを利用しましょう。

荷物のマナー

大きな荷物を手軽に運べるキャリーバックで出かける方も増えました。ホテルでは、そのまま室内に持ちこむことができますが、傷つきやすい床や畳の上でゴロゴロ引くのは厳禁。土足で入れる入り口までとしましょう。部屋にあげて使用する場合は、ローラーの部分を拭き、持ち上げて運びます。置き場所にも配慮が必要です。敷居の上や、床の間に置くことは決してしないように、和の作法を心がけましょう。

館内での服装

客室には浴衣やスリッパなどが備えられていますが、客室外での服装については、施設の規定を確認しておきましょう。また夕食と朝食時で会場が変わると、服装基準も異なる場合があります。規定を守り、施設の雰囲気や他のお客さまへの配慮を忘れず、お互い気持ちよく過ごしましょう。



部屋を出る前に

忘れ物がないかチェックしましょう。掃除の際、忘れ物とゴミとの区別がつかないと、対応に困るそうです。ゴミはゴミ箱に捨て、入りきらないときは、一か所にまとめてわかるようにしておきましょう。使用したタオルもひとまとめに。使った寝具は、たたまずそのままにしておくほうがよいそうです。冷蔵庫に用意された飲料にはサービスのものと、有料のものが有ります。精算があるものは伝票を持ちチェックアウト時に申告しましょう。アメニティは旅の記念として持ち帰っても良い場合が多いですが、室内の備品はNG。ホテルの約款で確認しておきましょう。

自分の求めるサービスに見合った施設を選ぶことも、大切ですね。

素敵な思い出をつくりましょう。



<https://www.nakakita-manner.com/>

次回は1月発行予定です お楽しみに♪